

「開かれた学校づくりの推進」のために

- 自律・分権型学校運営と地域の教育力の再生に向けて -

諮問事項「学校運営に関すること」のうち、地域との連携を視野に、自律・分権型学校運営及び地域の教育力の再生に向けた「開かれた学校づくりの推進」を部会として報告

教育の質の改善と低下した家庭・地域の機能を踏まえた学校づくり

【課題】

確かな学力・豊かな人間性・健康と体力

巨大都市 横浜市の学校

社会の変化に対応し、国際的視野に立つ子どもの育成

多様化する市民の教育ニーズに対応する学校づくり

評価・改善する学校、地域と連携する学校づくりが不可欠

検討の方向性

学校の自主性・主体性の強化

校長及び学校の権限と責任の拡大
地域の実情に応じた、学校の自主的判断による運営
学校情報の提供と地域参画を得た学校
保護者・地域と連携し、地域に最も相応しい学校

学校を核とした「地域力」の再生

「学縁」でつながる地域ぐるみの教育
共に「学ぶ」学校と学校が取り持つ「縁」による「学縁」からの地域力の再生
地域コミュニティの中核としての学校
学校を拠点にした新たな地域コミュニティ形成と、子どもを見つめ・見守り・育てる都市「横浜家族都市」

“開かれた学校づくり”のための視点

- “地域力”の結集～共に見つめ・見守る・育てる
- 「評価」と「公開」の促進～「参観」から「参画」へ
- 地域コミュニティの中核としての学校～共に学び・共に高まる
- 子どもの安全と安心～安全・安心な学校と地域
- 画一的な学校から主体性に富む地域の学校へ

提言

- 1 「地域職員室」の創設 ～学校をパートナーとして支援する人・組織・空間の概念～
学校・地域コーディネーターの創設 ボランティア・コミュニティルームの設置
- 2 創造型学校予算と学校ファンドの創設
努力・成果に応じた提案型の学校予算配当制度の創設
学校予算メリットシステムの導入 保護者・地域が管理運営する学校ファンドの設立
- 3 IT等による学校・地域のコミュニケーションの構築
学校ホームページの質的向上 電子メール・携帯メールの活用
「学校ガイドブック」、「学びと評価のガイドブック(仮称)」の作成

提言1 「地域職員室」の創設 ～学校をパートナーとして支援する人・組織・空間の概念～

学校を核にした地域の人と場の建設的・創造的な参画概念について、学校の職員室に対し、“地域職員室”として位置づけを図った。学校参画に関わる「組織面」と「空間面」を総称したこの“地域職員室”は、学校と地域の新しいパートナーシップを築く両輪となるものである。

学校・地域コーディネーターの創設

「地域職員室」において、学校・地域を結ぶ結節点となる役割を果たす人材。

学校への参画することを負担に感じることなく、一人ひとりが持ち味を存分に発揮できるように、学校・地域の人たちとコミュニケーションを継続していけるようにする。

ボランティア・コミュニティルームの設置

「地域職員室」の物的空間の設置。

活動するサポーター自身を支援する機能や、人により異なる活動、時間などに対応できる機能を兼ね備えておく必要がある。その上で、多くの人たちとの人的ネットワークを作ることが可能な情報交換、交流の場を創っていくことが大切である。

提言2 創造型学校予算と学校ファンドの創設

地域に開かれ、地域とともに発展する学校づくりのためには、学校予算について、学校の実情に応じたより効果的な執行計画を立てることができるよう、新たな学校予算の仕組みを検討する必要がある。また、開かれた学校づくりの進展により、地域が学校予算に独自の支援ができるような仕組みを検討していくことが必要である。

努力・成果に応じた提案型の学校予算配当制度の創設

必要最低限の部分を除き、学校の創意工夫や教育活動の内容に応じ、各校が計画し、予算を要求し、予算獲得をしていく提案型の学校予算配当制度の創設を検討する。

学校予算メリットシステムの導入

光熱水費のような配当外予算については、学校の経営努力により削減することのできるものがある。経営努力により無駄をなくし、その成果を学校運営へ有効に生かせるメリットシステム予算の導入が望まれる。

保護者・地域が管理運営する学校ファンドの設立

地域からの資金などの支援、学校の発行物販売や広告収入などを原資に、特色ある学校づくりに必要な予算を地域で生み出し、地域が管理運営する学校ファンドの設立が検討されるべきである。

提言3 IT等による学校・地域のコミュニケーションの構築

情報伝達や即時性に優れるITの活用により、学校と保護者、地域とのコミュニケーションを深め、地域の学校支援への参加意欲の向上につなげる。

学校ホームページの質的向上

地域人材、卒業生、大学生などとの協働で、現在、一方的な情報提供の場にすぎない学校ホームページを双方向的に機能するように質的向上を図り、有効なツールとして活用できるようにする。

電子メール・携帯メールの活用

学校から発信する情報の中で、緊急情報など即時性を求められるものは、電子メールを有効に活用する。また、メーリングリストを利用することにより、学校に関わる卒業生、保護者、地域住民等の時間・空間にとらわれない広がりをもった交流の場を創設する。

「学校ガイドブック」、「学びと評価のガイドブック(仮称)」の作成

保護者・地域との協働により、評価の視点や基準など学校評価に役立つ情報を提供するとともに、明確な学校ビジョンを示す学校マニフェストともなる「学校ガイドブック」を発行する。また、自ら学ぼうとする意欲の高揚や一層の学校生活の充実を図る観点から、子どもの成長の助けとなるための「学びと評価のガイドブック(仮称)」の作成を推進する。